

片瀬だより

令和8年10月25日 発行

編集・発行

片瀬だより編集委員会

藤沢市片瀬3丁目9番6号

電話 29-7171

FAX 25-8907

片瀬市民センター(本館)

片瀬福寿学校公開講座《要申込》

★11月26日(木)「アカペラ・コーラス・コンサート」

★1月21日(木)「本当は面白い! カニササレアヤコと学ぶ雅楽」

おひざの上のおはなし会とわらべ歌

★11月13日(金)

★12月11日(金)★1月8日(金)★2月12日(金)★3月12日(金)

かたせ親子探検隊II

《要申込》

★11月21日(土) 第1回「親子で防災を考えよう!」

★12月12日(土) 第2回「紅葉の川名清水谷戸探検!」

★1月30日(土) 第3回「親子で藍染に挑戦しよう!」

★2月13日(土) 第4回「ペットボトルロケットを飛ばそう!」



オレの挑戦!

《要申込》

スマホカメラ写真講座

★1月23日(土)

第1回「座学」

★2月6日(土)

第2回「館外学習(撮影会)」

★2月20日(土)

第3回「作品の発表と講評」

※男性の方向け



子育て孫育てみんなに知ってほしい安心講座《要申込》

★11月14日(土) 「教えて! 性の話・ジェンダーの話～子どもに教えるのはいつから?～」

★12月8日(火) 「VRで体験! 自転車交通ルール ～子どもの命を守るために～」

★1月12日(火) 「麴のチカラ! 内側からきれいに～甘酒・化粧水づくり～」(麴化粧水付き)



愛犬と笑顔で暮らすための～絆・健康・防災～片瀬わんわん講座 《要申込》

★11月29日(日) 実践編「今日から実践! ～愛犬と絆を深めるコミュニケーション～」

★12月13日(日) 座学編①「獣医さんに学ぶ! ～愛犬の健康長寿の秘訣～」

座学編②「もしもの時に備える～愛犬のための防災対策～」



片瀬しおさいセンター

野鳥観察入門講座

《要申込》

※全3回参加できる方優先

★12月9日(水) 第1回 片瀬しおさいセンターにて ★1月13日(水) 第2回 片瀬海岸～江の島

★2月10日(水) 第3回 奥田公園～川名清水谷戸～新林公園

赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム～オイルトリートメント～

《要申込》★12月3日(木) ★3月4日(木)

冬の子ども工作教室 《要申込》★12月19日(土)

屋のエクササイズ

★11月4日(水) ★12月2日(水):「心と身体を整えるバトン」

★1月8日(金) ★2月12日(金) ★3月12日(金):「優しく身体を整えるヨガ」

スマホお助け隊 《要申込》

★11月19日(木) ★12月17日(木) ★1月21日(木) ★2月18日(木) ★3月18日(木)

ようこそ小さな空間アンソレイユ

★11月9日(月)「ウーロン茶」 ★12月7日(月)「カルダモン」 ★1月4日「はと麦茶(漢方:ヨクイニン)」

★2月1日(月)「リコリス(天草)」 ★3月1日(月)「マジョラム」

楽しく子育て

《要申込》

★11月18日(水)「英語であそぼ!」 ★12月16日(水)「保育士さんとあそぼ! X'mas に作ってみよう!」

★1月20日(水)「親子であそぼ! 一緒にストレッチ!」 ★2月17日(水)「音であそぼ! 歌と楽器で!」

おもちゃの病院 ★11月21日(土)★12月19日(土)★1月16日(土)★2月20日(土)★3月20日(土)

生涯学習事業のお知らせ

申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ等をご確認ください。

片瀬市民
センターHP

藤沢の漁業③

地産地消でつなぐ「藤沢の魚」の未来

魚には、脳を活性化させると言われるDHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサペンタエン酸)といった、成長期の子どもたちに欠かせない栄養素が豊富に含まれています。アンケートでは多くの親御さんが「子どもに魚を食べさせたい」と考えていますが、実際には手間や「切り身」での販売が主流になったことで、魚の本来の姿を見る機会は減っています。

こうした状況の中、藤沢市では「地産地消」による水産振興を進めています。全国漁業協同組合連合会が推進する「プライドフィッシュ」には、脂の乗った「江の島カマス」が認定されました。また、学校給食への提供も積極的に試みられており、地元の定置網で獲れたワカシ(ブリの幼魚)などを子どもたちに届ける取り組みが行われています。大量の魚を安定して確保し、骨を丁寧に除くといった現場の苦労はありますが、子どもたちが旬の地魚を味わう体験は何物にも代えがたい食育となります。

最近では、温めるだけで手軽に食べられる「フアストフィッシュ」の普及や市場価値がつきにくい「未利用魚」を加工して活用する試みも始まっています。自然が相手のため、計画通りに魚が獲れないといった悩みは尽きませんが、水産加工業者との協力など、新しい仕組みづくりも模索されています。私たちが地元で獲れた魚を意識して選ぶことは、地域の漁師

さんを応援し、藤沢の豊かな海を次世代へ引き継ぐ第一歩となります。ぜひ、お魚屋さんで、藤沢の海の幸に触れてみてください。



インタビューでふりかえる

片瀬山住宅地のいまむかし②

前回の連載を読んだ多くの方から、片瀬山開発以前の思い出や、開発直後の住宅地での苦労話などを寄せていただきました。ありがとうございました。

今回は片瀬にお住いの鈴木昱生さん(九〇歳)のインタビューを中心にお届けします。

【開発以前の思い出】

鈴木さんは片瀬西方育ち。ご実家は、当時は赤山と呼ばれていたところに畑を二ヶ所と谷戸山(赤山の北側あたり)に山林を五〇〇坪所有されていたそうです。

「リヤカーで上り、山の上にある畑には子どもだったけど、手伝いでよく行ったね。赤土で、耕すのが大変な土地だったので、麦とサツマイモを作っていたね。水は無いので、下から運んだし、肥料は人糞で天秤棒に桶を下げて運ぶのが、それは大変だったね。この時の体験が頑丈な体を作ったと思うよ。」

鬱蒼と木の茂る子どもには怖い、細い道を二〇分ほど行くとサンザイと呼ばれる、木がなく、笹しか生えていない明るい見晴らし良い場所に出るんだ。

あと赤土に兵舎があり、国民学校一、二年生の時に兵隊さんの慰問に行った思い出があるね。(鈴木さん四年生の時に終戦)

山林では、冬に枝をはらったり、木を切ったり、草を刈る【山狩り】というものがあって、刈った木を薪にするために担いで降りてきて、家の燃料にしたり、売ったりしていたよ。

片瀬山の開発が始まり、山を手放す時は、周りの人たちが早くに売ってしまいたい『いつまでも持っている、自分の山に行く道がなくなるよ』と言われたと聞いているね」

その後、鈴木さんは片瀬を離れ、関西で就職し、転勤のため片瀬に戻ったそうです。何十年ぶりに今の片瀬山をご覧になった時の感想はいかがでしたか?と質問すると「浦島太郎だよ。まったく変わっているからね」とのことでした。興味深いお話が尽きないひとときとなりました。



1946(昭和21)年 空中写真
国土地理院サイト(「地図・空中写真閲覧サービス」より)

片瀬・江の島イチョシ浮世絵④

元藤沢市藤澤浮世絵館 学芸員 細井守

筒井年峰「江見水蔭作『江島道』(春陽堂発行)口絵」
(木版印刷。明治三十四年(一九〇二)出版)

この作品は、明治時代の通俗小説の挿絵として描かれた浮世絵で、浮世絵版画が衰退の兆しを見せていた明治時代後期のものです。明治になって新しい印刷方法や写真技術が輸入されたことや、これまでの文化を時代遅れと考える価値観が広まったことが影響し、浮世絵師たちの仕事は徐々になくなってしまうます。一方、同時代の出版業界は、幕府による出版統制が解除されたことや大量生産が可能な活版印刷の普及など、さまざまな理由が重なり、劇的に発展していきます。隆盛期を迎えた出版業界は、浮世絵師やその弟子たちに多色刷りの口絵(くちえ)を描かせ、この「木版口絵」が本の売れ行きを左右するほどの一大ブームとなりました。

絵師の筒井年峰(ついでとしみね。一八六三〜一九三四年ごろ)は月岡芳年の門下(歌川国芳の孫弟子)。小説の作者、江見水蔭(えみ すいいん。一八六九〜一九三四年)は尾崎紅葉らの文学結社、硯友社に参加し、一八九六年に住まいを片瀬に移しています。

物語の主人公は東海道藤沢駅―江の島間で営業する人力車夫の青年。文中、当時の江の島道辺りの景観や店の名前、風物などが活写され、知られざる郷土資料と言えます。

画に描かれているのは、別荘の庭での「松露狩り」(左の老人は別荘の主人)。シヨウロはクロマツの根と共生するキノコの一種(菌根菌)。豊かな香りが珍味とされ、高級料亭の季節料理として登場する食材です。シヨウロは実は江戸時代から昭和の始め頃まで、片瀬・鶴沼など湘南地域の名産品で、ごく身近にあった食べ物でした。



筒井年峰「江見水蔭作『江島道』口絵」

私の散歩道〜新林公園自然散策路〜

片瀬山北公園から新林公園に抜ける山道が私のお気に入りの散歩道の一つです。散歩道といっても若干ハードで、ちょっとしたトレッキングコースのため、私は専ら北公園からの下り専門ですが、木々に囲まれてマイナスイオンを存分に浴び、気分爽快です。

ルートは二つあり、気分に応じて歩き分け、季節に応じた木々や草花を愛でるのも楽しみの一つです。展

第47回 片瀬地区ふれあいまつりについて

日時: 10月31日(土)・11月1日(日)

午前10時から午後3時まで

※11月1日(日)は、午後2時まで

場所 片瀬市民センター・片瀬しおさいセンター

【片瀬市民センター】

★はじめての映画〜映画デビューを応援〜
『それいけアンパンマン! パンタンと約束の星』

今年の夏に公開の映画をお届けします!

上映日時 10月31日(土) 午前10時40分〜

会場 片瀬市民センター 2階ホール

★音楽芸能部会・展示部会 発表

★模擬店部会多数

【片瀬しおさいセンター】

★スポーツレクリエーション部会発表

★片瀬こま体験 ★輪投げ

★歩行姿勢測定、骨密度・血管年齢測定

★キッチンカー多数



(I)

望台からは富士山も望め気分転換には絶好です。リスや野鳥に出会うこともあります。クマはいません。

ふるさと片瀬

～今昔あれこれ～

53

「龍口明神社のいよ」 中村 喬

龍口寺の西隣に石造りの鳥居が残されている。私が子どものころは龍口明神社としてお参りをする腰越に住む親戚もいて一緒に頭を下げた思い出がある。

片瀬にある神社だが、ここだけは鎌倉市なのだと聞かされたことが記憶に残っている。この社には二柱の神様が祀られている。神武天皇の母君と伝えられる玉依姫命（たまりひめのみこと）と五頭龍大明神である。

この五頭龍大明神様は江の島の弁財天とは深いつながりがあるのだということだった。その昔、悪行を重ねていた五頭龍は江の島に降臨した弁財天の美しさに心をひかれた。その弁財天に行いを戒められて心を改め、人々を災害から守る神になったという。

龍口明神社は、国家安泰の神として昔から人々の信仰を集めてきた。欽明十三年（西暦五五二年）に創建と伝えられ、鎌倉一の古い社だとも

いわれている。大正十二年の関東大震災で全壊してしまった神社だが、その後同じ場所に再建された。昭和の時代にはこの神社と龍口寺の前に駐在所があつて地域の暮らしを見守っていた。一晩中赤色のまろい電灯がついていて私たちの暮らしを神社の神様と一緒に駐在所が支えてくれた。

その後、昭和五十三年に西鎌倉に遷座された。神社の記念碑に刻まれた由来によると「江の島遠望清浄の地」に遷座申し上げたとしてられている。境内にはブロンズの五頭龍大明神像が置かれて参拝の人たちを迎えてくれている。



片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方
どなたでも、一人10冊まで
2週間借りられます。

〈開室時間〉

火・日曜日

午前10時～午後5時

《新着本のお知らせ》

「永遠の記憶」

東野 圭吾

「ハヤブサ消防団 二」 池井戸 潤

「いちいちうるせえな

ありがたいね」

佐藤 愛子

「おうちで麻辣湯レシピ」石神 秀幸

「ベスト・エッセイ 二〇二六」

「日本ご当地マンホール大全」

渡辺 文善

「乱読御免」

今村 翔吾

「こども道路交通法」 山崎 聡一郎

「AIの学校 わかりやすく

おもしろい!!」

松尾 豊

「うんてんせき

陸・海・空ののりもの」

「はじめての子ども手芸」

片瀬市民センターからのお知らせ

長きにわたり「イルカ学級（乳幼児家庭学級）」として、子育て中の方へ向けた保育付きの学級講座を行っていましたが、今年度より視点を少し変えて、「子育て」で育児に関わる、これから関わる世代の皆さんにも聞いて欲しい『子育て孫育て みんなに知って欲しい安心講座』として生まれ変わりました。

パパ・ママだけでなく、みなで育児をする時代だからこそみんなで学んで、片瀬地区が子育て・孫育てにも優しい場所でありますように、悩みを一人で抱えてしまわないようにという願いを込めて開催しています。

11月は「性の話・ジェンダーの話」12月は「VRで体験！自転車交通ルール」1月は「麹のチカラ」甘酒・化粧水づくり」を行います。ぜひ、ご参加ください！

※次号の片瀬だよりは2～3月に発行予定です。

編集後記

身体をさすような陽射し、日陰を探しながら歩く。「水分を十分取って下さいね」と言われるかかりつけの先生の言葉が蘇る。今年の夏は、何処かに不安が過る生活だったが、お陰様で秋冷を迎える事が出来た。「油断大敵」、心にしつかりと受け止め、新しい年を迎えたいと思う。皆様もどうぞ良い年をお迎えください。